



企画趣旨
今、
どうして東北三地域を
取り上げるのか？

平成24年情報文化部では「3.11以降～東北の文化を考える～」をテーマに、2年にわたって石巻、田村、久之浜を訪問。平成25年参加者全員が記した感想を1冊の冊子にまとめました。震災から3年。現地の人々が一番恐れているのは「忘れられること」と聞きます。今ここで、3つの地域の関係者からお話を伺い、文化の側面から東北を考える機会を持つことにしました。

内容



- 1. 石巻編**…… 2014年9月26日(金) 開場17:45 (18:00-20:00) アネックス・セイホクギャラリー
石ノ森美術館のある石巻。市街地中心は旧北上川の広大な水面です。街の人たちは、水面が見えなくなってしまうたら、そこはもう自分たちの故郷ではないと言います。あの過酷な体験をしてもなお、なぜ、その想いを共有できるのでしょうか。そこまでの想いを抱かせる場所の力とはなんなのでしょうか。
・狩野 章 (石巻「ハレ工」が術にやってくる」実行委員長) ・阿部紀代子 (科学八他家女将)
・黒木正郎 (石ノ森美術館設計者) ・野口隆元 (若手ベンチャービジネスマン)
- 2. 久之浜編**…… 2014年10月17日(金) 開場17:45 (18:00-20:00) アネックス・セイホクギャラリー
原野30キロ圏の久之浜は、津波、大火葬と3連の被災地にも関わらず「報道されない町」と言われました。この小さな海沿いの町が、復興のフロントランナーとして注目を集めています。小学校の防災緑地ワークショップ (キッズデザイン賞受賞) やまちづくりトップランナーの指定 (復興庁) などお話を伺います。
・松本光司 (前いわき市立久之浜第一小学校校長) ・木村謙一郎 (いわき市市議会議員、いちい氷端取締役)
・栗田祥弘 (久之浜久地区まちづくりサポーターチーム共同代表) ・濱中俊 (同サポーターチーム演劇部担当者)
- 3. 田村編**…… 2014年11月28日(金) 開場17:45 (18:00-20:00) 向ヶ丘ファカルティ2F
一見何もなかったかのように見える緑豊かな里山、田村市は、原野20、30、40キロ圏内のそれぞれの地域を抱えています。避難、仮設住い、除染、国評被害と声には出せない苦しみの中でも、地域の行事や祭りは淡々と行われています。住民の方にとって地域とは何なのでしょうが、
・渡辺麻実 (フレンチレストラン・ホットハウス経営) ・逸見克己 (日本考古学協会会員)
・上達野伸一 (郷土写真家) ・吉野コナ子 (田村市夢大使)

会場

*2会場は東京大学農学部弥生キャンパス内にあります。
なお、①～③は座談会番号・会場の位置を示します。
① 9/26 (金)、② 10/17 (金):
東大アネックス・セイホクギャラリー
Tel: 03-5941-0205



③ 11/28 (金):
東大向ヶ丘ファカルティハウス2F
Tel: 03-5940-9495

【参加費用】
2,000円 [交流会員含む] 学生無料
*当日支払いでお願いします。

【定員】 第1・2回: 80名
第3回: 40名

【時間】 座談会 18:30～20:00 (開場 17:45～)
交流会 20:15～21:00

【オプションツアー案内】
座談会開始前に30分の東大構内散策(無料)を行います。ご希望の方は、各日の17:00に「東大赤門」(構内側)お集りください。
東大構内散策ツアー

協賛 総務部株式会社 菊川工業株式会社 中村ブレイス株式会社 株式会社平和会 株式会社ベクトル 安井建築設計事務所

aaca 3.11 以降～東北の文化を考える～「三地域横断座談会」参加申込書
一般社団法人 日本建築美術工芸協会 御中

F A X : 03-3457-1598

※お断りする前に必ずお申し込みください。

氏名	第 1 2 3 回 に出席		
所属先	勤務先・学校名		
ご住所			
TEL / FAX			
E-mailアドレス	@		

上記、個人情報は受付事務、及び、協会主催事業のご案内にのみ使用させていただきます。
申込先 一般社団法人 日本建築美術工芸協会 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建真会館 6F tel.03-3457-7998